

**令和6年度
第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会
愛媛県大会要項**

1. 主旨：（公財）日本サッカー協会は日本国内における女子サッカーの技術向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、高等学校のチームすべてが参加出来る大会として第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会を実施する。この大会はその県予選である。
2. 主催：（一社）愛媛県サッカー協会
愛媛県高等学校体育連盟
3. 協賛：愛媛ダイハツ販売株式会社
4. 協力：株式会社モルテン
5. 会場：令和 6年 9月16日（月祝） 1回戦 北条スポーツセンター球技場
令和 6年 9月21日（土） 準決勝 北条スポーツセンター球技場
令和 6年 9月22日（日） 決勝 北条スポーツセンター球技場
6. 組合せ
9月8日（日）、愛媛県女子サッカーリーグ運営委員会（18時開始）の開始前に抽選会を実施する。ただし、当日に実施できない場合は、協会責任抽選とする。
7. 開会式：実施しない。
8. 記念品・副賞贈呈式
令和6年9月16日（月祝）北条スポーツセンター球技場の1回戦第1試合終了後に行う。参加者は、1回戦出場4校の参加選手と役員、1回戦運営校の運営補助選手と役員等が出席する。（スケジュール等は別紙参照）
9. 閉会式
令和6年9月22日（日）北条スポーツセンター球技場の決勝戦終了後に行う。参加者は、決勝出場2校の参加選手と役員等が出席する。（スケジュール等は別紙参照）
10. 参加資格
 - (1) 令和6年度（公財）日本サッカー協会に女子登録した加盟チームであり、かつ都道府県高等学校体育連盟に加盟した高等学校の単独チームであること。
尚、本大会におけるチーム名は学校名とする。

※チーム編成において、全日制課程・通信制課程・定時制課程の生徒による混合は認めない。

- (2) 上記(1)のチームに大会参加申込締切日令和6年9月10日(月)までに登録された高等学校の生徒の選手であること。
- (3) 外国人留学生：4名まで登録でき、1試合2名まで出場できる。
- (4) 移籍選手：予選から本大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加申込することはできない。
- (5) 統合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加は認める。
また、部員不足に伴う複数校合同チームの参加については各都道府県高体連が承認している場合は大会参加を認める。
- (6) ア) 転校後6カ月未満の者の参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる)
ただし、一家転住などやむを得ない場合は、当該都県体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
イ) 転校を伴わなくても、高体連加盟以外のチームから高体連加盟のチームへ移籍する場合は上記アに準ずるものとする。ただし、この規定イの適用は当該年度内に限るものとする。
- (7) 学校長の出場承認を受けた者。

11. 競技方法

- (1) ノックアウト方式(3位決定戦は行わない)
- (2) 試合時間：80分(前・後半40分)
- (3) ハーフタイムのインターバル：原則として10分(前半終了から後半開始まで)
- (4) 試合の勝者を決定する方法(前記(2)記載に時間内で勝敗が決しない場合)
延長戦は行わずPK方式により勝者を決定する。PK方式に入る前のインターバル1分

12. 競技規定

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会競技規則による。また、以下の項目については本大会規定を定める。

- (1) 大会参加申込した最大30名の選手のうち、各試合の登録選手は最大18名とする。
- (2) 交代できる人数は、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から5名までとする。
 - ① 選手交代は、後半の交代回数を3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)
 - ② 前半、ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの選手交代は、後半の交代回数に含まれない。
- (3) ベンチ入りできる人数は最大13名(交代要員7名、役員6名)とする。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (5) 本大会期間中、異なる試合で警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (6) テクニカルエリア：準決勝より設置する。
設置する場合：戦術的な指示はテクニカルエリア内からその都度1人の役員が伝えることができる。但し通訳を必要とする場合は2名までとする。

- (7) 第4の審判員：準決勝より任命する。
- (8) アディショナルタイムの表示：準決勝より実施する。
- (9) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数：2名以内
- (10) 装身具：一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
- (11) 飲水タイム：暑熱下において、前・後半中程に飲水タイムを採用する。
- (12) Cooling Break：WBGT28.0℃以上の暑熱下においては、前・後半中程に3分間のCooling Breakを採用する。
- (13) マッチミーティング：試合開始70分前に開催し、ユニフォームチェック等を行う。

13. ユニフォーム

大会実施年度の（公財）日本サッカー協会ユニフォーム規定による。

但し、以下の項目については特に本大会用として規定を定める。

- (1) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）については、正の他に副として、正と色彩（濃淡）が異なり判別しやすいユニフォーム色彩を参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること（FP・GK用共）。
- (2) シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- (3) 選手番号は参加申込所に登録した選手番号を付けること。ユニフォームのシャツが縞（縦縞も横縞も）の場合は、台地（白布地等）（縦30cm×横30cm位）に背番号を付け、判りやすくする事。
- (4) ユニフォームの色彩、選手番号の参加申込締切日以降の変更は認めない。
- (5) ユニフォームへの広告表示については認めない。
- (6) ユニフォームに他のチーム（各国代表・プロクラブチーム等）のエンブレム等が付いているものは着用できない。

14. 参加申込み

- (1) 参加申込書に登録し得る選手数は、30名以内とする。
（ポジションについては、GK, DF, MF, FWと記入すること。）
- (2) 参加申込みは所定の申込書（エントリー表）を、期日までに下記申込先宛にメールすること。
- (3) 申込締切日：令和6年9月10日（月）必着。
- (4) 申込先：ishizaki@shinonome.ac.jp
- (5) 連絡先 石崎一樹 089-941-4136

15. 参加料：8,000円とする。（9月16日（月祝）の際に徴収いたします。）

16. 選手変更届及びメンバー提出用紙

- (1) 参加選手の変更は認めない。
- (2) メンバー提出用紙は、試合開始60分前までに試合会場で本部席に所定のメンバー表を3部提出する。

17. 表彰：優勝 表彰状・優勝杯・記念品

準優勝 表彰状・記念品

18. その他

- (1) 登録選手証として、選手証を必ず携帯すること。なお、選手証とはWEB登録システム「KICK OFF」から出力したカラーの写真貼付があり、顔の認識ができる選手証・登録選手一覧のことを示す。
- (2) 試合中及び大会に関する負傷あるいは事故の処置は各チームで責任を持つものとする。主催者側は一切責任を負わない。参加チームは必ず各チームで傷害保険に加入しておくこと。
- (3) 本大会において、その他の検討事項ができたときは、女子委員長が任命する大会実行委員数名によって相談し決定する。
- (4) 本大会の優勝チームに、第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会の出場権を与える。